

---

## 古賀市環境審議会（第50回）議事録

---

1 期日 令和4年8月5日（金曜日）9時30分から11時40分まで

2 場所 古賀市役所第2庁舎2階 中会議室

3 出席委員（9名）

会長	薛 孝夫	委員	中屋 允雄
副会長	渡邊 裕子	委員	花田 徳弘
委員	上杉 昌也	委員	吉見 一郎
委員	島岡 隆行	委員	三戸 優理
委員	菊次 憲二		

4 欠席委員（5名）

委員	鬼倉 徳雄	委員	小林 智美
委員	二渡 了	委員	木庭 かおり
委員	安武 祐子		

5 傍聴者数 なし

6 事務局出席者職氏名

市民部長	清水 万里子	環境課長	吉永 ゆかり
環境整備係長	村山 隆一	資源循環推進係長	大江 順一
大崎 愛		花田 純一	
市川 翔		橋爪 恵里	

7 一般財団法人九州環境管理協会出席者職氏名

環境計画課課長	保田 武彦	環境計画係長	時枝 琢
---------	-------	--------	------

8 議題

- ・第3次古賀市環境基本計画の策定について

9 配布資料

（事前配布）

- ・次第
- ・第3次古賀市環境基本計画の策定について（諮問）【資料1】
- ・第3次古賀市ごみ処理基本計画の策定について（諮問）【資料1】
- ・第3次古賀市環境基本計画策定までの流れ（案）【資料2】
- ・古賀市環境審議会の専門部会の設置について【資料3】
- ・第3次古賀市環境基本計画策定のための市民アンケート調査票（案）【資料4】
- ・第3次古賀市環境基本計画策定のための事業者アンケート調査票（案）【資料5】

（当日配布）

- ・ごみ処理基本計画策定のための市民アンケート調査票（案）【資料6】

## 概要

---

### 1. 開会あいさつ

---

- ・市長よりあいさつ。

---

### 2. 第3次古賀市環境基本計画の策定について（諮問）

---

- ・第3次古賀市環境基本計画の策定について、市長より古賀市環境審議会に諮問【資料1】
- ・第3次古賀市ごみ処理基本計画の策定について、市長より古賀市環境審議会に諮問【資料1】

---

### 3. 議事

---

#### 第3次古賀市環境基本計画の策定について

- ・薛会長のあいさつ後、

#### (1) 計画策定までの流れについて【資料2】

- ・配布資料に基づき、事務局より説明。
- ・質疑・応答。
  - 薛会長： 計画策定までの流れについて、委員のみなさまからご質問やご意見などあったらお願いしたい。
  - 渡邊委員： 市民アンケートの対象は、市民1,000人を無作為抽出しているが、対象者は年代の偏りがないように配慮されているか。
  - 事務局： 年齢や性別の偏りがないように対象者を抽出する予定である。
  - 島岡委員： アンケートの対象は18歳以上であるが、子どもたちからの意見も集めてはどうか。子どもたちが古賀市の環境を日々どのように考えているか、どのような自然環境を求めているか、という意見を聞くことは大切である。網羅的に調査することは難しいため、小中学校の数クラスなどを対象とする形でもよい。
  - 事務局： 若い世代のご意見は非常に重要と考えている。ワークショップの中で若い世代の意見が集まりやすいグループ編成を考えていきたい。また、現在構想段階だが、市の職員が小学校に伺い、子どもたちの意見を収集する機会を設けることを検討している。
  - 薛会長： 小学校だけではなく、中学校、高校も含めてできる限り広い対象から意見を聞くことができるとよい。
  - 事務局： 方法を検討させていただく。
  - 上杉委員： アンケートは、送付された本人が答えることを想定しているか。家庭全体のことを問う設問があるため、世帯の代表が答える方が答えやすいのではないか。
  - 事務局： 家電に関することや家庭内における省エネ対策に関する設問については家族内で協議してもらう必要があるかもしれないが、基本的には送付した個人としての意識を抽出することを目的としている。
  - 薛会長： 回答者の属性で世帯主かどうかを問うことを検討して欲しい。

- 吉見委員： 過去にこのようなアンケートがあり、同居している娘に送られてきたことがある。その際、娘からどのように答えたらよいかと聞かれた。このように、若い世代の方に調査票が届いた場合、回答を親に聞かかもしれない。
- 中屋委員： 既存資料調査と現況調査では、生物の現地調査を実施してデータを収集する予定か。
- 事務局： 自然環境調査は市全般の計画策定の基礎となる調査であり、実施することが望ましいと考えているが、市全域を対象とした調査は予算の関係上難しい。このため、「ぐりんぐりん古賀」等の既存団体が有しているデータを頂いて取りまとめる予定である。
- 中屋委員： 承知した。
- 薛会長： 現況調査の調査対象・範囲はどのような想定か。
- 事務局： 第2次計画の6分野を対象として、市で保有するデータ等を用いて最新年度までの情報を整理する予定である。
- 薛会長： 第1次計画を策定した際には事前に自然環境調査を実施した。第2次計画を策定する際、その同じ調査結果を最新の既存データとして使おうとしたことに対して、10年間の変化を見る上では不適切であるという意見があった。しかし、その時も予算上の都合で自然環境調査は実施できなかった。以前の調査から約20年が経過しており、自然環境は相当に変化している。第3次の計画期間中に自然環境調査を少しずつでも進める仕組みを考え、実行していく必要があると考える。
- 事務局： 今後検討していきたい。

(2) 部会の設置について【資料3】

・配布資料に基づき、事務局より説明。

- 事務局： 先程、第3次古賀市環境基本計画と第3次古賀市ごみ処理基本計画の策定について諮問をさせて頂いた。この諮問に基づき専門部会を設置するという流れである。この流れを受け、まず「ごみ処理基本計画策定検討専門部会」を設置させていただきたいと考えている。資料3には「地球温暖化対策実行計画策定検討専門部会」の設置についても記載しているが、これについては直接的な諮問をしていない。また、地球温暖化については技術的な内容が多いことから、吉見委員を中心として専門家のご意見をいただきながらとりまとめた内容を環境審議会に諮らせていただきたいと考えている。専門部会の設置については、次回の審議会までに整理させていただきたい。
- 薛会長： 専門部会の設置についての事務局のお考えは理解できる。地球温暖化対策実行計画区域施策編は環境基本計画に収録されるものであり、環境基本計画の策定についての諮問に含まれる。一方、事務事業編は市役所内部の計画であり、また、本計画の策定業務を市が委託している（一財）九州環境管理協会は、福岡県地球温暖化防止活動推進センターとして指

定されている組織であって、地球温暖化対策についての専門知識を有しておられるので、本審議会に専門部会を作って議論する必要はないと考える。

事務局：地球温暖化対策実行計画の策定については、専門家、専門機関にご意見をいただきながらまとめていきたい。

(3) 市民・事業者アンケート調査について【資料4】・【資料5】

- ・配布資料に基づき、事務局より説明。
- ・市民アンケートについて質疑・応答。

○ 薛会長：市民アンケート調査票案 p. 4～5 で、第2次計画の施策に対する市民の満足度や重要度を質問している。施策の中項目レベルで満足度と重要度を選ぶように設定されているが、中項目の中には複数の取組がある。その内容は括弧内に記載されているが、回答者によっては、取組毎で満足度が異なる可能性がある。この点からは、個別の取組単位で満足度等を問う方がよいかもしれない。但し、その場合は設問が多くなるため、回答者の負担となる。逆に、中項目のみを示して取組の内容は示さず、回答者がイメージできる範囲で回答を選択していただく方法も考えられる。第2次計画策定時のアンケートではそのようにしている。この設問の設定方法について、委員の意見を伺いたい。

○ 渡邊委員：設問が増えると回答しづらいため、原案のままでよいと考える。

○ 島岡委員：括弧内に記載されている個別の取組を見た上で回答を考える場合、取組結果のデータも併せて示されていないと判断ができない。取組結果のデータを示さないのであれば、取組内容が記載されていない方が、自分自身のイメージで悩まずに回答することができる。

○ 上杉委員：取組の詳細はない方がよいと考える。言葉が難しく、ご存じない方もいらっしゃる事が想定される。また、回答時間の目安が「15～20分」と記載されているが、取組の詳細を読むだけで時間がかかってしまう。

○ 三戸委員：記載されている取組内容を踏まえて回答しようとしても、この情報だけでは評価できない。市民の評価を求めるのであれば、取組の結果を示した環境報告書を参照できるように、URL や QR コードを付けてはどうか。環境報告書が参照できるのであれば、取組内容の記載があってもよいと考える。

○ 菊次委員：市民に意見を求めるのであれば、わかりやすい言葉にさせていただくとよいと考える。

○ 中屋委員：取組内容に専門用語が含まれており、わかりにくい箇所がある。

○ 花田委員：中項目の表記だけでは内容がわからないため、取組内容の記載はあった方が回答しやすい。また、環境報告書等の取組結果を参照できるとよい。

○ 薛会長：他のアンケート事例等を把握している（一財）九州環境管理協会の意見はどうか。

● 九環協：従来は第2次計画策定時のアンケートのように回答者のイメージで答

えていただくことが多かったが、最近は回答がしやすくなるように内容を具体的に示すことが多い。しかし、ご指摘頂いたとおり記載内容が難しいということがあるため、かみ砕いた形で表現することは考えられる。取組結果の詳細を確認できるように環境報告書のウェブページを参照できるようにすることを含めて検討する。

- 薛会長： 取組内容を記載することについては委員の中でも意見が分かれたが、第2次計画策定時のように中項目のみを示して回答者のイメージで答えていただく形にはしないこととしたい。まず、年次の環境報告書はホームページに公表されているので、それに誘導することは検討していただきたい。また、分かりにくい表現についても改善し、回答しやすい設問にすることを検討していただきたい。
- 吉見委員： どのように答えればよいかわからない設問があることが想定される。わからない場合に、適当に回答してしまう恐れがある。そこで、「わからない」という選択肢があるとよいと考える。
- 薛会長： 「わからない」という選択肢を入れる場合、「わからない」という回答が多くなって母数が小さくなる心配はないか。
- 吉見委員： それでもわからない市民がいたという事実は把握できる。
- 九環協： わからない設問に回答していただく必要はない。未回答の場合は不明回答として、それを除いて集計するので問題ないが、わからない方が「どちらともいえない」を選択する可能性もある。わからない方が適当な選択をしないような配慮は必要と考える。
- 渡邊委員： 設問内に、わからない場合は答える必要がないことを記載してはどうか。
- 上杉委員： このアンケートは20分では答えられないと思われる。特に環境に無関心の方は途中で脱落してしまい、回答率が下がることが懸念される。回答率を上げるためにも、わからないことは答えなくてよい、ということを確認に示した方がよいと考える。
- 事務局： 表紙等にその旨を示すこととしたい。
- 島岡委員： p. 4～5の設問は、第2次計画における市の取組を評価することを目的としているのか。それとも現行計画に記載されている取組項目に不足がないかを問うことを目的としているのか。
- 九環協： 第2次計画における市の取組を評価することを目的として設問を設定している。
- 島岡委員： この設問の書き方ではどちらにも解釈できるため、趣旨が分かるように文章を修正した方がよい。
- 薛会長： 事務局に検討いただくこととする。
- 吉見委員： インターネットで答える人向けに「ID、PASSなどを追加記載」とあるが、個人にID・パスワードを割り振り、個人を特定するのか。
- 事務局： デジタル関係部門に確認するが、IDとパスワードは不要の可能性が高い。

- 薛会長： その場合、重複回答を許してしまうことにならないか。
  - 島岡委員： 市民以外など、対象外の方が回答する可能性も考えられる。
  - 事務局： 管轄部署に確認・調整する。  
※アンケートシステムの機能上、ID と PASS は付与できないが、1 媒体から 1 度しか回答できない仕組みになっていることを確認。
  - 島岡委員： アンケートの中に「市民」と「住民」の文言が混在しているので、統一してほしい。
  - 事務局： 「市民」に統一したい。
  - 中屋委員： p. 9「環境の保全や地球温暖化対策のための行動について」の設問の中にグリーンカーテンの設置状況を問う設問を追加していただきたい。グリーンカーテンを実行している家庭が増えてきている。
  - 事務局： 設問を追加したい。
  - 三戸委員： p. 10 のコラム「ゼロカーボン・ゼロカーボンアクションとは」の中に古賀市のゼロカーボンシティ宣言について記載されている。また、設問でもゼロカーボンの実現に向かって必要な取組の実施状況等が問われている。しかし、現実的な問題として、ゼロカーボンの実現は非常に厳しく、実現のためにはかなり踏み込んだ市民・事業者等の取組が必要となる。踏み込んだ取組が必要ということを意識付けるために、取組の必要性を強く強調する文言を入れるべきと考える。
  - 吉見委員： 問 1～問 7 までは主にこれまでのことを聞いており、問 8 以降では主に今後のことを聞いている。問 7 と問 8 の間に、ゼロカーボンシティ宣言等、第二次計画から第三次計画にかけての環境や社会情勢の変化について説明する内容をまとめて入れてはどうか。回答者に変化を理解していただいた上で問 8 以降の設問に答えていただく流れとする。
  - 薛会長： 問 7 と問 8 の間に社会情勢の変化やゼロカーボンの実現に向けての取組みの必要性について説明する内容を入れるように事務局で検討してほしい。アンケートの発送予定はいつか。
  - 事務局： 8 月末までにとりまとめた後、発送したいと考えている。
  - 薛会長： 委員の意見を踏まえて修正したアンケート案を委員に送り、了承を得るようにしていただきたい。
  - 事務局： 修正案を 8 月中にメールでお送りする。
- ・事業者アンケートについて質疑・応答。
- 薛会長： 設問内容は第 2 次計画策定時のアンケートと概ね同じか。
  - 事務局： 温暖化対策に関する設問は追加している。それ以外は、前回との比較ができるように概ね同様の設問としている。
  - 吉見委員： 対象の市内事業所は、市内に本社がある会社なのか、支店等も含まれるのか。
  - 事務局： 本社・支社の区別はなく、古賀市内で従業員を抱えている事業所を抽出する予定である。

- 吉見委員： 本社機能がある場合にはこの設問は適切と考える。しかし、回答者が出先の事業所の場合、本社の方針を理解しているか不明であり、アンケートに答えることができるか、疑問が残る。設問で、本社機能がある事業所かどうかを問うようにすれば、それを区別することができる。
- 薛会長： p. 2の属性を問う設問の中に追加してはどうか。
- 渡邊委員： 業種の区分で製造業の区分だけ細かいのはなぜか。
- 事務局： 古賀市の事業分類として、製造業が圧倒的に多い。この区分は第2次計画策定時のアンケートを踏襲したものであるが、製造業の内訳について聞く程の事業所があると思われる。
- 薛会長： 一方で農林水産業を一つにしているのはどうか。活動内容がかなり異なるものが含まれると思う。
- 吉見委員： 飲食店・小売店は、サービス業に該当するのか。
- 三戸委員： サービス業は多岐に渡るため、区分を細分化した方がよいと考える。
- 事務局： 業種の区分について再度検討する。
- 吉見委員： p. 6の環境マネジメントシステムへの取組状況について、福岡県が進めている「エコ事業所」を追加した方がよい。
- 事務局： 「エコ事業所」は代表的なものであるので、入れるように修正する。
- 薛会長： 以上の意見を踏まえて事務局で再度検討した上で、大きく内容が変わる場合には委員に報告していただきたい。
- 事務局： 承知した。

(4) ごみ処理基本計画 市民アンケート調査について

- ・配布資料に基づき、事務局より説明。

資料：ごみ処理基本計画策定のための市民アンケート調査票（案）

- ・質疑・応答。

- 薛会長： このアンケートは環境基本計画のアンケートと一緒に配るのか。
- 事務局： 環境基本計画のアンケートとは別の1,000人を対象として抽出する予定である。
- 薛会長： 家庭ではなく個人を対象としているのか。
- 事務局： 送付した個人としての意識を抽出することを想定としている。
- 渡邊委員： 環境基本計画のアンケートと同様に「市民」「住民」の用語を統一してほしい。
- 事務局： 「市民」に統一する。
- 薛会長： 概ねこの内容で進めるということによい。

---

#### 4. その他

---

- ・その他の意見等。

- 薛会長： 第1次計画では、相当なページ数を割いて環境配慮指針を記載していたが、第2次計画では縮小された。それを踏まえて第2次計画の後期実施計画では、「環境配慮指針の見直しを検討する」ことを取組に掲げてい

るが、実施できていない。第2次計画における取組事項であるので、第3次計画の検討とは別に、先行して進めるべきではないかと考える。

- 事務局：再生可能エネルギーの導入について、国の脱炭素促進区域設定等の動きがあり、脱炭素促進区域の設定方針や、抑制する区域の設定方針等を踏まえて環境配慮指針の記載を充実させるように検討していきたい。
- 薛会長：その件について基本計画にどの程度書き込むことになるのか不明だが、自然環境や生活環境を守る上で太陽光パネルの設置等を抑制・排除する区域を検討することなどは、追われてやるのではなく、第3次計画に先んじた動きとして進めることが望ましい。
- 渡邊委員：今後のスケジュールによると、第2回環境審議会は、アンケート調査結果等に関する中間報告が予定されている。この時に第2次計画における目標達成状況や課題が分かる資料があるとよい。
- 薛会長：第2次計画の計画期間は来年度までだが、数字で取りまとめられる最終年度は今年度になると思われる。令和3年度の達成状況を早めに把握できれば、中には令和4年度に取組を強化することで目標を達成、あるいは達成に近づくことができる項目もあるかもしれない。令和3年度の状況の取りまとめは、是非、早めをお願いしたい。
- 事務局：令和3年度の数値目標の達成状況については、第2回の環境審議会の際に示せるようにする。

<事務局からの連絡事項>

- ・報償・費用弁償については、今月中もしくは9月初旬の振込を予定している。
- ・会議録は作成次第、委員全員にメール・郵送し、内容等に誤りがないか確認をお願いしたい。  
会長の承認後、会議録についてはホームページで公開する。
- ・本日頂いた意見を踏まえたアンケート調査票の修正案は委員にメールするので確認をお願いしたい。

---

5. 閉会

---